

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 芝浦機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6104 URL <https://www.shibaura-machine.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂元 繁友
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 青木 稔 (TEL) 03 (3509) 0444
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	58,952	9.8	1,670	△29.7	2,156	△8.2	1,847	3.1
2022年3月期第2四半期	53,697	26.9	2,377	—	2,349	—	1,792	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,252百万円 (44.5%) 2022年3月期第2四半期 2,251百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	76.49	—
2022年3月期第2四半期	74.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	180,567	85,884	47.6
2022年3月期	166,989	83,515	50.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 85,884百万円 2022年3月期 83,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2023年3月期	—	37.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	20.6	5,000	18.0	5,400	18.8	4,300	15.4	177.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	29,977,106株	2022年3月期	29,977,106株
2023年3月期2Q	5,814,448株	2022年3月期	5,822,705株
2023年3月期2Q	24,157,944株	2022年3月期2Q	24,149,429株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の概況

① 2023年3月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国において経済活動の停滞がみられたことや、米国においてインフレや金融引き締めの影響を受け景気減速リスクが高まるなど景気回復ペースが鈍化しました。また、新型コロナウイルス感染症、中国におけるロックダウン、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により、部材需給逼迫やエネルギー価格高騰などさらなるサプライチェーンの混乱が生じており、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済は生産、設備投資に持ち直しの動きが見られましたが、サプライチェーンの混乱や急激な円安などの影響を受けました。

当社グループを取り巻く経済環境は、中国におけるロックダウンの影響を受けたものの、前連結会計年度より引き続き設備投資需要が回復基調で推移しました。また、世界的に脱炭素化などの社会課題解決に向けた動きが加速していることを背景として、EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要の拡大が見られます。このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率(ROE)の向上を目指した財務戦略の実行に取り組むとともに、社会課題を解決する高付加価値商品の創出と高効率な生産の実現に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。成長分野に対応した投資においては、市場規模が拡大している超精密加工機、脱炭素化を背景としたEV需要の高まりにより受注が急拡大しているリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置の増産体制構築を進めました。また、成長市場であるインドにおいて当社インド工場の射出成形機の生産能力増強のため新工場の増設を進めています。

当第2四半期連結累計期間の受注高は1,100億4千1百万円(前年同期比26.7%増)、売上高は589億5千2百万円(前年同期比9.8%増)となりました。損益については、営業利益は16億7千万円(前年同期比29.7%減)、経常利益は21億5千6百万円(前年同期比8.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億4千7百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

② セグメント別の概況

成形機事業 [射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など]

射出成形機においては、販売および受注はロックダウンの影響により中国で減少したものの、脱炭素化の動きを背景に北米の中大型電動機が増加したことに加え、経済活動が活発化しているインドで油圧機が増加しました。

ダイカストマシンにおいては、販売は国内、東南アジアにおける自動車向けが増加しました。受注は国内、韓国、北米で自動車向けを中心とした設備投資需要が回復したことにより、増加しました。

押出成形機においては、販売は中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が増加したものの、台湾、韓国における光学用シート・フィルム製造装置が減少しました。受注はEV関連の設備投資需要の拡大に伴い、中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が増加しました。

この結果、成形機事業全体の受注高は903億7千8百万円(前年同期比34.9%増)、売上高は404億2千6百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は10億4千9百万円(前年同期比43.7%減)となりました。

工作機械事業 [工作機械(大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など)、超精密加工機など]

工作機械においては、販売は国内における産業機械向けおよび北米におけるエネルギー向けが増加しました。受注は北米におけるエネルギー向けおよび中国における風力発電向けが増加しました。

超精密加工機においては、販売は国内、中国における光学系金型向けが減少しました。受注は光学系金型向けが国内で増加したものの中国で減少しました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は146億4千1百万円(前年同期比1.2%減)、売上高は137億3千1百万円(前年同期比25.0%増)、営業利益は3億1千3百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

制御機械においては、販売は国内におけるシステムエンジニアリングおよび電子制御装置が増加しました。受注は国内における電子制御装置が減少しました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は42億7千9百万円(前年同期比5.6%減)、売上高は42億4千4百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は2億2千2百万円(前年同期比14.8%減)となりました。

その他の事業

その他の事業全体の受注高は7億4千2百万円(前年同期比46.4%増)、売上高は5億4千9百万円(前年同期比18.7%増)、営業利益は6千6百万円(前年同期は営業損失7百万円)となりました。

(2) 財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ135億7千7百万円増加し、1,805億6千7百万円となりました。増加の主な内訳は、商品及び製品が38億9百万円、仕掛品が93億2千8百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ112億8百万円増加し、946億8千2百万円となりました。増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が55億6千4百万円、契約負債が57億7千万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億6千9百万円増加し、858億8千4百万円となりました。増加の主な内訳は、為替換算調整勘定が18億8千9百万円増加したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ14億2千1百万円増加し、484億9千6百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、21億6百万円の減少になりました(前年同四半期連結累計期間は66億9千3百万円の増加)。これは主として、仕入債務の増加による収入が55億4千3百万円、契約負債の増加による収入57億5千1百万円があったものの、棚卸資産の増加による支出131億1千4百万円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、15億8千3百万円の減少になりました(前年同四半期連結累計期間は8億7千5百万円の減少)。これは主として、有形固定資産の取得による支出13億3百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、12億1百万円の減少になりました(前年同四半期連結累計期間は11億9千8百万円の減少)。これは主として、長期借入金の返済による支出2億5千万円、配当金の支払額9億5百万円等があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、2022年5月26日公表の予想を修正いたしました。詳細は、2022年11月9日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,710	48,496
受取手形、売掛金及び契約資産	23,613	24,207
商品及び製品	23,000	26,810
仕掛品	28,541	37,869
原材料及び貯蔵品	65	42
その他	7,566	11,074
貸倒引当金	△37	△48
流動資産合計	134,461	148,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,040	37,440
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,459	△27,741
建物及び構築物（純額）	9,581	9,699
機械装置及び運搬具	23,463	24,103
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,584	△20,916
機械装置及び運搬具（純額）	2,878	3,186
土地	7,142	7,238
リース資産	469	552
減価償却累計額及び減損損失累計額	△244	△276
リース資産（純額）	224	275
建設仮勘定	842	321
その他	7,084	7,202
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,607	△6,677
その他（純額）	477	525
有形固定資産合計	21,146	21,245
無形固定資産		
その他	843	891
無形固定資産合計	843	891
投資その他の資産		
投資有価証券	8,686	7,927
長期貸付金	5	4
繰延税金資産	565	897
その他	2,718	2,593
貸倒引当金	△1,436	△1,444
投資その他の資産合計	10,538	9,978
固定資産合計	32,528	32,115
資産合計	166,989	180,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,729	29,294
短期借入金	10,917	14,006
未払法人税等	465	406
未払費用	2,248	2,690
賞与引当金	1,894	1,873
製品保証引当金	618	843
契約負債	28,887	34,658
その他	2,003	1,871
流動負債合計	70,766	85,644
固定負債		
長期借入金	3,300	-
長期未払金	5	5
繰延税金負債	440	8
役員退職慰労引当金	63	42
退職給付に係る負債	8,354	8,376
資産除去債務	384	385
その他	158	219
固定負債合計	12,707	9,038
負債合計	83,474	94,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	68,374	69,315
自己株式	△16,322	△16,299
株主資本合計	76,075	77,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,350	3,818
為替換算調整勘定	3,348	5,238
退職給付に係る調整累計額	△259	△212
その他の包括利益累計額合計	7,440	8,845
純資産合計	83,515	85,884
負債純資産合計	166,989	180,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	53,697	58,952
売上原価	38,162	40,799
売上総利益	15,535	18,152
販売費及び一般管理費	13,157	16,481
営業利益	2,377	1,670
営業外収益		
受取利息	39	44
受取配当金	123	201
受取賃貸料	23	26
為替差益	40	409
雇用調整助成金	231	-
その他	74	158
営業外収益合計	533	840
営業外費用		
支払利息	55	69
業務委託費用	67	48
その他	437	237
営業外費用合計	560	355
経常利益	2,349	2,156
特別利益		
固定資産売却益	13	1
特別利益合計	13	1
特別損失		
固定資産処分損	18	9
関係会社出資金評価損	-	194
特別損失合計	18	203
税金等調整前四半期純利益	2,345	1,954
法人税、住民税及び事業税	341	598
法人税等調整額	210	△492
法人税等合計	552	106
四半期純利益	1,792	1,847
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,792	1,847

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,792	1,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	377	△532
為替換算調整勘定	6	1,889
退職給付に係る調整額	75	46
その他の包括利益合計	459	1,404
四半期包括利益	2,251	3,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,251	3,252
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,345	1,954
減価償却費	922	1,042
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83	△21
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△13	224
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	△20
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	60	68
受取利息及び受取配当金	△163	△246
支払利息	55	69
関係会社出資金評価損	-	194
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	4	8
売上債権の増減額 (△は増加)	1,782	△594
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△673	△13,114
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,170	5,543
契約負債の増減額 (△は減少)	△4,130	5,751
未払費用の増減額 (△は減少)	162	443
預り金の増減額 (△は減少)	18	82
未払金の増減額 (△は減少)	144	344
その他	505	△3,384
小計	6,253	△1,635
利息及び配当金の受取額	156	240
利息の支払額	△38	△50
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	322	△660
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,693	△2,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△800	△1,303
有形固定資産の売却による収入	80	1
無形固定資産の取得による支出	△182	△213
短期貸付金の増減額 (△は増加)	10	0
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	16	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△875	△1,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	20
長期借入金の返済による支出	△250	△250
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△905	△905
その他	△42	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198	△1,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	1,676
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,656	△3,214
現金及び現金同等物の期首残高	42,417	51,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,074	48,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,444	10,983	3,805	53,234	463	53,697	—	53,697
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2	757	759	185	945	(945)	—
計	38,444	10,986	4,562	53,993	648	54,642	(945)	53,697
セグメント利益又は 損失(△)	1,862	239	261	2,364	△7	2,356	20	2,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	40,426	13,731	4,244	58,402	549	58,952	—	58,952
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	861	861	170	1,032	(1,032)	—
計	40,426	13,732	5,105	59,264	720	59,985	(1,032)	58,952
セグメント利益	1,049	313	222	1,585	66	1,652	18	1,670

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2022年11月9日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、次のとおり自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

1. 消却する株式の種類	当社普通株式
2. 消却する株式の数	3,000,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合10.0%)
3. 消却予定日	2022年11月24日
4. 消却後の発行済株式総数	26,977,106株

3. その他

(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高

① 受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	66,987	90,378	23,391	34.9
工作機械	14,817	14,641	△176	△1.2
制御機械	4,534	4,279	△255	△5.6
報告セグメント計	86,339	109,299	22,960	26.6
その他	507	742	235	46.4
合計	86,846	110,041	23,195	26.7

② 売上高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	38,444	40,426	1,982	5.2
工作機械	10,983	13,731	2,748	25.0
制御機械	3,805	4,244	439	11.5
報告セグメント計	53,234	58,402	5,168	9.7
その他	463	549	86	18.7
合計	53,697	58,952	5,255	9.8

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	91,301	160,975	69,674	76.3
工作機械	22,016	24,220	2,204	10.0
制御機械	3,774	6,101	2,327	61.6
報告セグメント計	117,092	191,297	74,205	63.4
その他	347	581	234	67.3
合計	117,440	191,879	74,439	63.4

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。